

2025 年度事業計画

2020 年代に入り、国際エネルギー情勢は激動の時代が続いています。ロシアウクライナ戦争や中東など、複数の国や地域で地政学的リスクが高まった状況が継続しており、エネルギー安全保障の重要性がさらにクローズアップされています。

また、世界中で選挙イヤーとなった 2024 年ですが、先進国の自国優先と右傾化が一層鮮明になり、グローバルサウスの台頭も相俟って、経済圏の分断・ブロック化などが、セキュリティ、価格、脱炭素などのエネルギー情勢に大きな影響を与えることが予想されます。

とりわけ、アメリカで再び大統領に就任したトランプ氏が、就任早々パリ協定からの離脱を表明するなど、地球規模での気候変動対策にも大きな影響を与えることが懸念されます。

一方、国内では、わが国を取り巻くエネルギー情勢の大きな変化を踏まえ、第 7 次エネルギー基本計画等が閣議決定され、2040 年に向けたエネルギー政策の骨格が示されました。

2025 年に設立 75 周年を迎える当協会は、以上のような激変する国内外のエネルギー情勢を受けエネルギー変革新時代におけるミッションを具体化して会員サービス事業を進めるとともに、世界エネルギー会議 (WEC) の事業活動への参加・協力等を通じ、これまで以上に積極的にエネルギー分野の諸課題に対する情報発信を行っていくことが求められています。

このような課題認識を踏まえ、当協会の以下の 3 つの基本理念に則り、新たな技術や業界の枠を超えた取り組み、エネルギー供給サイドのみならず需要サイドや社会構造やビジネス環境の変化にも注目して、今後の事業活動を展開していくこととします。

- 1 エネルギーを始めとする多様な事業領域の結集と調整を行う国内唯一の民間組織としての強みを発揮し、業際・国際間の諸課題の解決に貢献する。
- 2 会員事業者等の知見と協力を得つつタイムリーな施策提言や調査報告等を行い、多様性を活かした課題の共有に努める。
- 3 世界エネルギー会議 (WEC) のメンバーとして、海外のエネルギー情勢を適切にフォローするとともに、我が国の状況や立場を発信し、相互の理解促進を図る。

以上の認識のもと、今年度は以下の事業を展開してまいります。

- ・重点事業：12 月に、主要 5 団体のトップが一同に会する「エネルギートップ講演会」を当協会設立 75 周年記念行事として開催する。
- ・WEC 事業：10 月 6 日～9 日のワールド・エナジー・ウィーク（パナマ）に参加し、大会の活性化と成功に貢献するとともに、パナマの理解を深めるための講演会を開催する。
2026 年 10 月のサウジアラビア・リヤド世界大会開催に向けて、国内外の情勢を適切に反映し、多くの方々が参加できるように準備を進める。
- ・国内事業：引き続き、時宜を得たテーマによる講演会（パワートーク、会員講演会）等を開催する。
- ・事業運営：会員のニーズを踏まえ利便性と効率性を兼ねたイベントの企画運営に努め、国内外に向けたタイムリーな情報発信、情報セキュリティの強化を積極的に進めるなど、会員サービスの維持、質的向上を図る。また、移行法人としての円滑、適法な事業運営を行う。

1. 普及啓発事業

(1) 機関誌発行事業

- ・「エネルギーと動力」を2刊（春季号：5月、秋季号：11月）発行して配布する。
- ・企画を審議するための編集委員会を開催する（2回）。

(2) シンポジウム事業

○エネルギートップ講演会（公開）

- ・当協会副会長でもあるエネルギー主要5団体の会長による本講演会は、他に類をみない当協会の特色であり、1997年度以降、3年に1回の頻度で開催してきた。
- ・今年度は当協会設立75周年を記念してシンポジウム形式で開催する。

- ・登壇者：エネルギー5団体会長
- ・開催日時：12月1日（月）15時30分～17時30分
- ・場 所：経団連会館
- ・開催方法：ハイブリッド（同時通訳付き）

2. WEC 事業

(1) 世界エネルギーウィーク（パナマ）に関する公開講演会

- ・10月に開催される世界エネルギーウィークのホスト国であるパナマの理解を深めるための講演会を定時総会に合わせて開催する。
- ・登壇者：駐日パナマ共和国大使・ワルテル・コーエン閣下
- ・開催日時：6月18日（水）15時30分～（定時総会終了後）
- ・開催方法：ハイブリッド（経団連会館＋オンライン、同時通訳付き）

(2) 世界エネルギーウィーク（パナマ）への参加

- ・会長他が参加（登壇）し、WECのブランド力向上と大会の成功に貢献する。
- ・開催日：10月6日（月）～9日（木）
- ・開催地：パナマ共和国・パナマシティ

(3) 第27回リヤド世界大会に向けた準備

- リヤド世界大会の最新情報、参加手続き等を含めた説明会を開催する。
- ・開催日：2025年度下期（他のイベント・理事会等と合同開催）
 - ・場 所：東京都内

(4) WEC年間活動への参加

①Officer's Council

当協会・廣瀬会長がWEC副会長として参加

②総会（Executive Assembly）および常設委員会

当協会、各委員が参加

③アジア地域会議

毎月開催される地域月例会議（Web）に参加。コロナ禍で休止していた対面開催が再開予定（上期・検討中）

④その他諸活動

非定期のワークショップ、ラウンドテーブル、調査活動等に参加・協力

（5）調査事業への参加

「世界エネルギートリレンマ（World Energy Trilemma Index）」、「世界エネルギー課題（World Issues Monitor）」、「世界エネルギーシナリオ（World Energy Scenario Foundations）」をはじめとする旗艦調査事業について、引き続き調査支援等を行う。

（6）会議の開催

・世界エネルギー会議日本国内委員会定時委員会

同委員会定款第 10 条第 1 項に基づき、定時委員会を当協会の定時総会と同時に開催する（6 月 18 日）。

3. 会員サービス事業

（1）講演会・パワートーク等の開催

① 第 40 回パワートーク

- ・登壇者：電力広域的運営推進機関 田山 幸彦 理事
- ・テーマ：『2025 年度電力供給計画の取りまとめの概要』（仮題）
- ・開催日時：4 月 24 日（木）14 時～15 時 30 分
- ・開催方法：オンライン

② 第 41 回パワートーク

- ・下期予定（ハイブリッド開催（検討中））

③ 会員講演会

- ・国内外の政治情勢等についての会員向け講演会を開催する。

- ・登壇者：東京大学名誉教授 佐々木 毅 氏
- ・開催日：9 月 25 日（木）14 時 30 分～15 時 30 分
- ・開催方式：オンライン

（2）ニュースレターの発行

会報「ニュースレター」を隔月（偶数月 15 日・計 6 編）に発行する。

4. 事業運営・会議他

(1) 会議の開催

- ・ 定時総会 6月18日(水)
- ・ 理事会 3回:5月20日(火)、6月18日(水)、3月
- ・ 運営評議員会 1回:3月(理事会との合同開催)

(2) 委員会の開催

- ・ 技術委員会 2回:7月、1月

(3) 情報発信(会員、国内外の会員以外)の充実

- ・ リニューアルしたホームページやX(旧Twitter)、その他デジタルツールを活用することなどにより、会員とのコミュニケーションの充実を図るとともに、日本のエネルギー事情等の情報発信など、国内外の会員以外に対しても、効果的かつ効率的な情報発信に努める。

(4) 公益目的支出計画実施状況

- ・ 内閣府より2年間の延長を認可された公益目的支出計画は、今年度(2026年3月31日)をもって完了する予定である。

以上